

講座の目的

対象と定員

双方向性のあるコンテンツに関するプログラムの設計・制作を通して、プログラミングの知識や技術を習得し、実践的な指導力の向上を図る。

10名
(中10名・特支)
※中学校免許外教科担任受講可

期 日

研 修 内 容

平成31年10月17日(木)

- 情報の技術に関する指導上の諸問題
- 中学校技術分野におけるコンテンツを扱うプログラミング教育の在り方
- ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング 等

担当者からのメッセージ

新学習指導要領の完全実施に向けて、「情報の技術」、プログラミングについて準備は進んでいますか？

宮城教育大学 教授 安藤明伸先生の講義・演習を通して、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツについての理解を深めます。演習ではビジュアルプログラミング言語ScratchのMesh機能を用いて、ネットワークを利用した双方向性のあるプログラムを制作する予定です。

